

ホウ・レン・ソウで最も重要なポイントとは、情報共有を早く、正確に行うということです。

そこで便利なのがメールやグループウェアの活用です。
私が所属している組織ではペーパーレスも兼ねて、グループウェアをフルに活用しています。

メール・スケジュール管理・インフォメーション・ToDo・回覧板・設備予約・
仮払い精算・申請（出張・仮払い・休暇・稟議）・安否確認・電子会議室・
文書管理・議事録 などなど。。。

ISO14001 や ISMS の膨大なマニュアル類は文書管理に保存して、
個々人がマニュアルをプリントアウトして保持しなくて済むようにしています。

インターネット環境が整っていれば外出先や出張先でも、
管理者やメンバーのスケジュール確認や諸申請をすることもできます。
必要な情報をいつでも参照できるようになっていて、今ではグループウェア
抜きでは仕事になりません。

こんなに便利なメールやグループウェアですが、便利さの陰の思わぬ落とし穴に
気をつけなくてははいけません。

ではどんな落とし穴が潜んでいるのでしょうか。。。

届いたメールが、要領を得ない報告や憶測ばかりの報告だったら、
あなたならどうしますか？

フェイス・トゥ・フェイスの報告だったら、わからない部分を質問するこが
でるのに。。。

このような人には、メールで報告する際の文章の基本を教えるしかありませんね。

1. 「5W1H」を考える
2. 事実を客観的に伝える
3. 結論、要点をロジカルに伝える

ビジネスの基本なんですけど、意外とこれが出来ない人が多いです。

メールを送っても返信してこない人っていますよねえー！
特に管理者に多いのでは？

これは、To と CC の使い方がかなり影響しているように思えます。
複数メンバーに送られているメールに返信する場合は、
なるべく全員宛に返信しましょう。

それから、謝罪をメールだけで済まそうとする人がいますが、
フェイス・トゥ・フェイスでしか伝わらないこともあります。

「便利だっ！」ということ、状況も考えずにやみくもにメールや
グループウェアを使っている人もいますが、ホウ・レン・ソウを
的確かつスピーディに行うには、ツールを上手に活用することが大切です。

便利なメールやグループウェアもメリット・デメリットを踏まえて
使いたいですね。

IT を駆使して、ホウ・レン・ソウをパワーアップしましょう。

今回は、全員野球でホウ・レン・ソウ！！についてです。

【ビジネスマナークイズ】Q34 中華料理のマナー
回転テーブルで中華料理を食べるときの基本マナーとして、適切なのはどれで
しょうか？

- (1) 好きな料理は自分の取り皿に多めにのせておく
- (2) 大皿からスプーンで料理をすくい、フォークで上から押えて取り皿に
のせる。
- (3) テーブルに置いた取り皿があまり多くならないように、1枚をなるべく
2種類以上の料理につかう

★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★

4. 浮島由美子「お役立ち！ミニミニ知識の泉」Vol.32

★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★**★

さて、「何でも屋」担当をいたします Y's ラーニング代表の浮島です。
ビジネスに必要な知識やスキルって幅広い。
ここでは限定せずにあれこれ拾っていきこうと思っています。

【考えて発信する力9】
ビジネスマンの総合力をアップする！
「考えて発信するトレーニング」をシリーズでお届けします。

さまざまなビジネスシーンで、見直されている「考える力」の重要性。
Y's ラーニングでは本年度から、この「考えて発信するトレーニング」を開始しました。

情報収集のポイント

「考える力」というのは独立した能力ではありません。

大きな流れは、

【1】情報を仕入れる → 【2】情報を加工する → 【3】情報を発信するという3ステップで構成されます。

【2】情報を加工する

「情報加工」フェーズの第四回は、情報加工のポイント4「発想力を磨く」です。

ものごとの関係を考えるために「ロジカルシンキング」は大切ですが、もうひとつ！最近注目されているのが、「ラテラルシンキング」です。最近なんて、書きましたけど考え方自体は40年も前に紹介されているらしい。その後、「ロジカルシンキング」や「クリティカルシンキング」がブームになりしばらく、皆で忘れていた.. というところでしょうか。

ロジカルシンキングは物ごとを論理的に考え、論理的に説明するための手法です。これに対し、ラテラルシンキングは革新的な発想を生み出すための考え方でされます。

そりゃ、誰だって対策に行き詰ったら「起死回生のアイデア」が欲しいです。

ラテラルシンキングは「水平思考」と呼ばれます。違った観点、違う側面を探り続ける思考法です。

これに対してロジカルシンキングは同じ観点で掘り続ける「垂直思考」です。

先日、「ウミガメのスープ」という本を読みました。ラテラルシンキングのトレーニング本です。ポール・スローン著。おもしろいです。

正式名称と著者名を調べようとしてインターネットで検索して驚きました。

2チャンネルやいろいろなサイトで「推理合戦」が盛り上がっている...

いろいろなアイデアを出し合うゲーム性がうけているのでしょうか。

- ・ 答えは一つではない
- ・ ロジカルでは解決できない問題が突破できる
- ・ 「思い込み」や「ステレオタイプな思考」から解放される
- ・ いろいろな視点を持つようになる
(よくいわれるのは、「鳥の目(マクロ)」「蟻の目(ミクロ)」「魚の目(トレンド)」)

ラテラルシンキングのメリットはこんなところにあるのでしょうか。
「答えが一つではないこと」がどうしてメリットなのかと思われませんか。
ラテラルシンキングは、すべての「前提を疑う」ことから始まります。
思い込みや固定観念をはずすことで、新しい答えを得る、そのために、
「答えが一つではないことはメリットである」と考える方が良いでしょう。

良いアイデアを生み出す秘訣は、よりたくさんアイデアを挙げることです。
「まねしてはいけない」「答えは一つのはずである」という思い込みを捨てること
で、アイデアが生まれやすくなるのですね。

ラテラルシンキング、次回ももう少し続けたいと思います。

○。
「スキルアップマガジン」は、Y's ラーニングのお客様、および Y's の
スタッフが名刺交換させていただいた皆様にお送りしています。
あなたのスキルアップに役立つ情報をお届けする無料のメールマガジンです。
ぜひ、ご愛読くださいますようお願い申し上げます。

※皆様からのご意見・ご感想・ご要望、お待ちしております。

→E-mail : info@yslearning.com

→Y's ラーニングお問い合わせフォーム : <http://yslearning.com/お問い合わせ/>

※配信停止をご希望の方は、「配信停止」とご記入の上、
お手数ですが、停止希望のメールアドレスを上記までご連絡ください。

※配信先の変更がある場合は、「配信先変更」とご記入の上、
旧配信先と新しい配信先をご記入の上を上記までご連絡ください。

○。

2012.3.1 号

【ビジネスマナークイズ *解答】

解答 (2)

大皿にのった料理は主賓から料理を取り皿に取り分け、回転テーブルを回し
ながら順番に取っていきます。

一つの料理が一回りしたあとは、自由に取ってかまいません。

取り皿を大皿の近くに寄せて、スプーンで料理をすくい、フォークで上から
押えてこぼさないように取ります。

取り終わったらスプーンとフォークを大皿に重ねて戻します。

自分の皿に移した料理は残さないのがマナーです。

初回からいきなり多めに取り皿に移すと、料理が何種類も出来たときに食べられなくなります。

取り皿は料理の数だけつかってもかまいません。
汁物の器には直接口をつけず、レンゲなどですくって飲みましょう。